

月・火休館、祝日開館 開館時間 9:30~17:00

### 今月のご案内

月	火	水	木	金	土	日
月火曜日は 休館日				1 文化祭 (会場:町民センター)	2 文化祭	3 文化祭
4 祝日 開館	5	6	7 資料整理日(休館)	8	9	10 森へ いこう
11	12	13	14 陶芸教室 夜間開放	15	16 わくわく	17
18	19	20	21 陶芸教室 夜間開放	22	23	24 森林療法 講座
25	26	27	28 陶芸教室 夜間開放	29	30	

### 森へ行こう

## 〈歌オブナ林 冬じたく〉

散策シーズンの終わりを迎え、散策路沿いの道しるべをはずしながら、晩秋のブナ林を観察します。葉が落ちた森は野鳥観察にも最適！

【日 程】11月10日(日) 9:30~14:30  
※午前中だけの参加も可

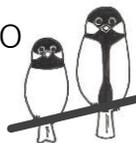
【集 合】歌オブナ駐車公園

【参加費】300円 ※ブナさぼメンバーは無料

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ電話

【持ち物】野外で活動できる服装、長靴、雨具、帽子、軍手、防寒着、昼食、水筒

【その他】雨天の場合中止



黒松内の森林療法を、一緒に盛り上げていきませんか？

## 〈癒しのブナ林

### 楽しみ方講座・秋〉

黒松内で実践している森林療法を、実際に野外で、そして座学でも、楽しみながら学ぶ講座の第2弾です。昼食には「黒松内・秋の健康メニュー」をご用意しています。お楽しみに！

【日 程】11月24日(日) 9:30~15:00

【集 合】ブナセンター

【参加費】500円

【定 員】20名程度

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ電話

【持ち物】外で活動できる服装、汚れてもいい運動靴、防寒着、リュック、水筒



### わくわく土曜日ランド

## 〈秋の森パフェづくり〉

秋の実りをふんだんにつかったパフェを作ります。今年はブナの実もたくさん落ちていますよ。ブナの実をひろってポケットもおなかもばんぱんにしよう！

【日 程】11月16日(土) 10:00~15:00

【集 合】ブナセンター

【参加費】300円

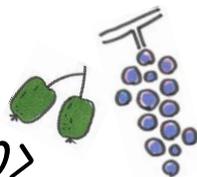
【対 象】町内の小学生

※保護者同伴可。初参加の1年生は保護者同伴。未就学児の同伴は事前にご相談ください。

【持ち物】外で活動できる服装、防寒着、リュック、汚れてもいい運動靴、エプロン、三角巾、昼食、水筒

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ電話

【その他】お菓子を作りますので、アレルギーをお持ちの方はご相談ください。



### 11月2~3日

## 町民総合文化祭に出展します！

~こんなこと  
する予定です~

- ・陶工房で活動している陶芸クラブの皆さんの作品展示
- ・黒松内ブナ林再生プロジェクトによるブナの実配布
- ・ブナセンターの活動報告や歌オブナ林で行っている調査の紹介

ぜひ遊びにきてください！



昨年度はブナセンター30周年。皆様のご支援・ご協力に感謝の年でした。

これからは歌オブナ林天然記念物指定100周年(2028年10月22日)へ。あと4年です！



FacebookのQRコードはこちら

発行所：黒松内町ブナセンター  
〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1  
TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440  
MAIL [bunacent@host.or.jp](mailto:bunacent@host.or.jp) HP <https://bunacent.host.jp>  
FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>



秋のブナ林は、ツタウルシやハウチワカエデなどは赤く色づきますが、多くの樹種は黄色から黄金色に色づくため、「紅葉」ではなく「黄葉」（こうよう）と表現することが多いです。ブナ林の黄葉を彩る個性的なキャストをご紹介します（永田）。



透きとおるレモンイエローはヤマグワとヤチダモ。ヤチダモは葉が開くのがとても遅くて春は心配になるほど。なのに、落葉はいち早い（今年10月上旬）。

ヤチダモ



ヤマグワ

いつもは明るい黄色が美しいイタヤカエデ。今年は黄色が少なく茶色が多い印象。散るのも例年より1か月近く早く、9月上旬から散り始めた。



イタヤカエデ  
(アカイタヤ)

ひときわ大きなホオノキ。表面の斑模様が画家クリムトの絵みたい。踏んで歩くと、がざがざと鈍い音を立てる。葉の裏はピロードのような手触りできもちがよい。



ホオノキ

多くの木々が色づき散っていくころ、ようやくブナが黄葉し始めます。過去5年間の歌オブナ林のブナ黄葉のピークは10/24から11/3のあいだ。このおたよりがみなさんのお手元に届くころ、黒松内のブナは黄色く光り輝いているでしょう！



ブナ

黄葉した実際の葉を載せています！HPにカラー版があるのでぜひご覧ください

報告 ブナセンター講座を開催しました

かれき 枯木博士から見たブナ林



講師 深澤遊 先生  
東北大学大学院農学研究科准教授。研究テーマは、枯木の分解や枯木をめぐる生物間相互作用、菌類の知能など。

今年ブナセンター賞を受賞した深澤先生を講師にお招きし、枯木を分解する菌類(腐朽菌ふきゅうきん)について学びました(9月28日開催・参加者17名)。

腐朽菌はなぜ木を分解する？

木の主な成分である「セルロース」を食べたいから！セルロースは、まわりを茶色い「リグニン」に包まれています。

腐朽型（腐朽菌の分解のしかた）は2種類！

腐朽菌を森で観察！

枯れ枝を拾い、ナイフで削って、腐朽菌の作る模様「帯線たいせん」を観察。身近なところで腐朽菌同士がせめぎ合っている様子確かめました。



ブナの枯木はこちらが多い

白色腐朽

- ・白くてふわふわ
- ・湿っぽい
- ・リグニンも分解する



褐色腐朽

- ・茶色でブロック状
- ・乾燥している
- ・リグニンは分解しない

腐朽型によって森の生き物の種類が変わる！

例えば白色腐朽には、昆虫ではオニクワガタ、粘菌ではツノホコリが好んで棲みます。一方で、褐色腐朽に好んで棲む昆虫・粘菌・植物もいます。さらに腐朽菌に集まる生き物を、食べたり利用したりする生き物がいて…と、森の生態系はつながっています。

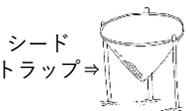
黒松内ではどんなことを調べるの？

腐朽菌の種類はその森の生物多様性と深く結びついてます。深澤先生は、歌オブナ林の枯木に住む腐朽菌の種類を調査しています。調査によって明らかになった腐朽菌の種類を他の森と比較することで、北限のブナ林に棲んでいる生き物全体の特徴が見えてきます。

今年もブナの実調査やっています

研究の成果は3月1日開催予定の生物多様性保全奨励事業で発表します。お楽しみに

ブナセンターでは、歌オブナ林の結実状況（豊作年か不作年か）を1994年から調査しています。方法は、秋にシードトラップをブナの木の下に10か所設置し、その中に落ちたブナの実をひたすら数えます。今年は9月8日にトラップを設置、10月5日に1回目の回収をしました。その結果（途中経過）を公開します！



調査年

調査年	健全果	ぶっくり	しいな	げっそり	虫食い	穴あき	割れてる	1㎡あたりの健全果
今年(2024年10月5日時点)	1417	88	37	19	283個/㎡			
昨年(2023年9-11月)	0	1	0	0	0個/㎡			
一昨年(2022年9-11月)	1327	457	389	213	265個/㎡			
過去30年間で最豊作(1997年9-11月)	2283	608	270	55	570個/㎡			

今年は大豊作の予感！？

- ☀️ 豊作：300個/㎡以上
- ☁️ 並作：100個/㎡以下
- ☔️ 不作：10個/㎡以下

参考：榎原ら1953.ブナ林における傘伐作業試験(第II報)種子の落下.日林誌35: 282-285

◎最終結果は次号にて！